

2008/12/18

TABLE FOR TWO 事務局発行

## TABLE FOR TWO 2008 冬のパーティー「アフリカン・クリスマス」開催ご報告

12月10日に開催したTABLE FOR TWO 冬のパーティー「アフリカン・クリスマス」の様をご報告いたします。当日は、ビジネス、政治、アート、芸能など、あらゆるジャンルの方々、総勢約200名が、年の瀬のお忙しいところ、このイベントに駆けつけてくださいました。

このイベントの趣旨は、TABLE FOR TWO(以下TFT)が子どもたちに学校給食を届け、支援するアフリカの生活や文化を実際に体験しながら、知っていただくことにありました。日本から地理的に離れたアフリカのこととなるとイメージが湧かない方も多いと思います。

今回のイベントでは、アフリカの特徴をとらえたデザインフードをはじめ、現地の小学校で提供されている給食の再現や、映像、音楽など、五感をフルに使ってアフリカを感じていただく要素を多数取り入れました。そうすることで、「たとえ地球の裏側に住んでいようとも、相手を想う心があれば距離は縮まり、まるで一つの食卓を囲むように心を寄せあうことができる」というTFTの想いを、実際にイメージとして持っていただけるのではないかと考えた次第です。

今後、アフリカの子どもたちの食料問題に思いを馳せ、彼らの国の現状を身近に感じて頂ければと願っております。

### <イベントプログラム>

#### 19:00(開場) アフリカの子どもたちの笑顔をのせたスライドとTFTの活動に関するMovieの上映

午後からはじまった準備が予定通り終わり、19:00 ちょうどに、アフリカ音楽にあわせて会場がオープンしました。続々と出席者のみなさんが会場に集まり始めました。開演までの間は、ウガンダ、ルワンダの小学校で撮影した子どもたちの笑顔の写真と、今回初披露となるTFT活動紹介Movieを上映させていただきました。



(TFT 活動 Movie)



(会場内の写真の展示)

19:30 (開演)

## J-WAVE DJのサッシャさんのMCとともにパーティースタート

ご自身の番組「J-WAVE・WAKE UP TOKYO」でTFTをご紹介くださったサッシャさんが、このイベントのMCを引き受けてくださいました。サッシャさんのオープニング・トークでパーティーが始まりました。続いて、TFT理事・高島より全理事メンバーを、みなさんにご紹介させていただきました。

いざ乾杯へ！



(司会のサッシャさん)



(TFT理事・高島)



(TFT関係者による乾杯)

TFT関係者は目印に、腕に紅白のリボンを付けていました。リボンを中心に会場のみなさんと輪になって、TFT、そしてアフリカについて意見交換させていただきました。



(会場内の雰囲気)

20:00

## TABLE FOR TWO 事務局より活動報告

TFT事務局長・小暮より、今年1年TFTが取り組んできた社員食堂事業で参加団体が95に到達したことや、約34万食の学校給食を届けることができたことをご報告させていただきました。また今後は、TFT認定のヘルシー食品の提供により、食堂を持たない団体や個人の方にもご協力いただけることをお伝えさせていただきました。そして日本から世界にむけてTFTを拡大していきます。



20:30

## アフリカン・ミュージックのライブパフォーマンス

EDOCHA MBAYAO さんによるライブパフォーマンス。アフリカ民族楽器ジャンベの轟くような響きと軽快な笛の音によって生み出されたアフリカの独特なリズムが会場を包み込みました。



## 21:00 ゲストからの熱い応援メッセージ！

中田宏さん(横浜市長)、玉塚元一さん(株式会社リヴァンプ代表取締役)、北野誠さん(タレント)より、TFTの今後の新たな展開に向けエールを送っていただきました。



(玉塚さん)



(北野さん(左)と中田さん(右))



## 21:30 クロージング

TFT 代表理事・堂前より、最後にご挨拶申し上げました。NPO 法人設立から1年を迎えました TFT にとって、今年は様々な可能性を探り、活躍の場を広げるための「種まきの年」でした。来年以降その芽を大きく成長させ、日本から世界規模に広がる TFT の輪を作りだしていきたいと思います。

(TFT 代表理事・堂前)



### <出席者の方々からいただいた声>

「TABLE FOR TWO の活動を実際に肌で感じられたことに併せて、とても多くの方々から活動を支援されていることに、感動しました。今夏、TABLE FOR TWO と出逢えたことにより、ようやく自身のなすべきことがクリアになりました。ありがとうございます。」

「初「ポシヨ」、堪能させていただきました。もし可能ならば、社員にも「ポシヨ」を食べてみる機会を作りたいなと思いました。より具体的にアフリカの子どものことが想像しやすくなりますよね。」

「アフリカの食事や楽しい音楽を体験しつつ、参画企業・サポーター・スタッフの皆様の志と熱気を肌を感じる、とても良い体験が出来ました。「皆様の食卓に美味しく健康な笑顔をお届けする」という弊社の理念通り、アフリカの子ども達に1つでも多くの笑顔を届けられるよう努力してまいります。」

### <ご協賛くださり、誠にありがとうございました>

このイベントへの協賛商品としてご提供いただきました。本当にありがとうございました。

- エスエス製薬株式会社様より「エスカップ」と「エスカップ Be plus Bee」
- 株式会社三真様より「やわらかぬれもち」と「しっとりソースせんべい」
- コラムジャパン株式会社様より「スチームケース」と「レモンスクィーザー」

## 「アフリカン・クリスマス」ができるまで、舞台裏の様

ーようこそ、TABLE FOR TWO の食卓へー

### パーティーの運営をお手伝いいただいたボランティアの方々

クローク、受付、フロアーの準備と運営は、全て TFT を応援して下さる学生さん、ボランティアスタッフの方々にお手伝いいただきました。みなさんに召し上がっていただいたアフリカの子どもたちが給食で食べる「ポシヨ」も、在日ウガンダ人のボランティアの方に作っていただきました。こうした方々のご協力なしでは、会を成功へと導くことは不可能でした。



### フードデザイナー中山さんとアフリカン・デザインフード

アフリカの子どもたちのカラフルな洋服を想起させる、色鮮やかなお食事をお楽しみいただきました。テーマはずばり「アフリカのクリスマス」。テーマに沿ったヘルシーなお食事を、フードデザイナーの中山晴奈さんに取り揃えていただきました。



(当日ポシヨを作ってくれたビデリさん)

### アフリカの学校給食ポシヨの再現

「アフリカの子どもたちはどんな給食を食べているのでしょうか?」という質問を多く寄せられます。そんな、みなさんからの疑問にお答えするべく、今回のパーティーでは、在日ウガンダ人のビデリさん、マリアさんをお願いして、本場仕込みのポシヨを再現していただきました。

### アフリカの学校給食ポシヨを作ってみよう!

<材料> トウモロコシの粉・お水・白インゲン豆・玉ねぎ・トマト・ガーリック・塩、こしょう

<作り方>

ポシヨ (お餅のようなもの)

- ① カップ 8 分目くらいのお水を沸騰させて、トウモロコシの粉を入れる
- ② 粘り気が出るくらいまで練る

お豆のスープ

- ① 玉ねぎ、トマトをカットして、オイルをしいた鍋でガーリックと一緒に炒める
- ② 水につけておいた (まる 1 日) 白インゲン豆を入れて炒める
- ③ 塩こしょうをし、チリペッパーなどお好みで味を付けて、できあがり

\*ポシヨにお豆のスープをつけてお召し上がりください。

